

景子の神奈川行脚

【1月】

- 5日 おひさま保育、県政ニュース発送作業
- 6日 商工会議所賀詞交歓会、連合神奈川新年会、司法書士新年会
- 7日 生協新年会、韓国人会新年会、JR労組新年会
- 8日 出初式、鶴が台団地新年会、柳島新年会、労働党新年会
- 9日 駅伝大会、成人のつどい、県政ニュース配布
- 10日 おひさま保育、団会議、県賀詞交歓会、神教組新年会
- 11日 茅ヶ崎朝駅頭、県トラック協会、自治労、情報労連新年会
- 12日 茅ヶ崎朝駅頭、県予算編成会議、ライオンズクラブ新年会
- 13日 茅ヶ崎朝駅頭、私学新年会、国際アカデミア・地球市民プラザ視察
- 14日 大六天神社どんと焼き、JR労組小田原文部新年会、脱原発世界会議
- 15日 脱原発世界会議
- 16日 茅ヶ崎朝駅頭、質問打ち合わせ、県へ要望書提出、連合街直活動
- 17日 県下水道事務所ヒアリング、電機連合新年会
- 18日 茅ヶ崎朝駅頭、女性の働き方ヒアリング、建設業協会新年会
- 19日 茅ヶ崎朝駅頭、基幹労連新年会、保険医協会新年会
- 20日 おひさま保育、市自治労旗開き
- 21日 あべともこ衆議院議員新年会、湘南シニアクラブ、薬剤師会新年会
- 22日 インターン面接、災害ボランティア、古式消防新年会、岸正明市議新年会
- 23日 市民相談、フェミニスト議員連盟世話人会
- 24日 茅ヶ崎警察署武道始式、浅野史郎氏講演会
- 25日 茅ヶ崎朝駅頭、湘南地域連合新年会
- 26日 茅ヶ崎朝駅頭、スタッフミーティング、ライオンズクラブ定例会
- 27日 おひさま保育、料理を楽しむ会、青少年問題協議会
- 28日 市川房枝政治フォーラム
- 29日 フェミニスト議員連盟女性議員パワーアップ講座
- 30日 企業庁相談、政務調査会
- 31日 特別委員会視察(京都、兵庫)

【2月】

- 1日・2日 特別委員会視察(京都、兵庫)
- 3日 おひさま保育、節分豆まき
- 4日 災害ボランティアチアソンまき、新聞記者ヒアリング、保育問題懇談会
- 5日 県政報告会、新春の集い
- 6日 県環境審議会
- 7日 団会議、予算説明会、温度差発電勉強会
- 8日 茅ヶ崎朝駅頭、おひさま保育
- 9日 茅ヶ崎朝駅頭、ケンジメイト視察、ライオンズクラブ理事会
- 10日 おひさま保育、藤沢市長選応援、日朝のつどい
- 11日 米村市議新年会、映画会、藤沢市長選応援、輪輪シネマ懇談会
- 12日・13日 仙台支援
- 14日 政務調査会、部会長会議、本会議、提案説明、議案説明
- 15日 茅ヶ崎朝駅頭、議案説明、政務調査会新年会
- 16日 おひさま保育、本会議、ライオンズクラブ定例会
- 17日 本会議、こどもネットワーク発達障害学習会
- 18日 湘南シニアクラブ
- 19日 市長新春のつどい
- 20日 政務調査会、部会長会議、本会議、牧山参議院議員との懇談会
- 21日 おひさま保育、大都市制度ヒアリング、演劇鑑賞
- 22日 本会議
- 23日 本会議、フェミニスト議員連盟世話人会
- 24日 本会議、政務調査会、部会長会議、勝又衆議院議員新年会
- 25日 小澤嘉平氏叙勲祝の会、市立病院視察
- 27日 市民相談、中小企業政策学習会
- 28日 県民企業常任委員会、教育問題学習会
- 29日 映画会

【3月】

- 1日 県民企業常任委員会、茅ヶ崎高校定時制卒業式、ライオンズクラブ定例会
- 2日 おひさま保育、公民館まつり、
- 3日 サボセンまつり、公民館まつり
- 4日 住吉神社まつり、メガソーラー見学、映画会「第4の革命」
- 5日 県民企業常任委員会
- 6日 下水処理場視察、部会長会議
- 7日 茅ヶ崎朝駅頭、特別委員会
- 8日 茅ヶ崎朝駅頭、中海岸遠足、震災支援展示会
- 9日 一中卒業式、女性議員の会
- 10日 子育て団体交流会、WE会議、ライオンズクラブ理事会
- 11日・12日 3・11郡山福島県民大集会
- 13日 養護学校卒業式、市民相談
- 14日 おひさま保育遠足
- 15日 茅ヶ崎朝駅頭、予算委員会、部会、ライオンズクラブ定例会
- 16日 部会長会議、県民企業常任委員会、演劇鑑賞
- 17日 茅ヶ崎老人連合会運動会、ライオンズクラブ(姫路)
- 18日 ライオンズクラブ(姫路)
- 19日 献血運動、鎌倉世界遺産候補視察
- 20日 赤とんぼ記念碑式典
- 21日 本会議
- 22日 議会運営委員会、政務調査会
- 23日 本会議
- 24日 中海岸コミセン竣工式
- 25日 寒川広域リサイクルセンター式典、歌劇鑑賞
- 26日 県政ニュース配布



「第4の革命」映画会



県政報告会 新春の集い



脱原発世界会議参加



下水道処理場視察



ケンジメイト視察



節分豆まき

くさか景子のバスツアーのご案内

日時 **5月9日(水)**
 ・午前 **7:30** 集合 **8:00** 出発 17:30 頃茅ヶ崎着
 集合場所 茅ヶ崎市役所分庁舎と市民文化会館の間の道に集合
 見学スポット ①浮島太陽光発電所 ②川崎大師 ③川崎臨海部を港巡視船にて見学
 募集人数 45名(申し込み順)
 参加費用 2,500円(昼食代、保険料、当日集めます)

【申し込み・問い合わせ先】
 ◇神奈川県議会議員 くさか景子事務所
 TEL&Fax 0467-58-0290
 e-mail:future@grace.ocn.ne.jp



東日本大震災復興支援にご協力を!

仙台に送りますので、
 パッチワーク用の糸・針・綿、
 着物地のご寄贈をお願いします。



※4月末までに事務所にお寄せください。



神奈川県議会議員 くさか景子の県政報告



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子
連絡先 くさか景子事務所
〒253-0043 茅ヶ崎市元町 3-17 村田ビル 202
Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp
http://www3.ocn.ne.jp/~children/



くさか景子

検索

くさか景子のハチドリのひとつ

第一回県議会定例会報告 2月14日～3月23日 黒岩知事 初の予算編成

一般会計は1兆7730億円、財源不足に対応する県債(臨時財政対策債含む)は2897億円、県債残高は3兆5000億円を突破してしまいました。

黒岩知事が最も力を入れている事業

神奈川からのエネルギー政策の転換

住宅用ソーラーパネル普及促進
事業費 前年度の2倍11億円
24,000件分

約30億円

23年度約10,000件の実績に対し、24年度は倍以上の24,000件分の高い目標をあげています。各市町村の補助金との連動に期待しています。

愛川町にメガソーラー設置

約9億円

企業庁がモデル事業で始めます。一般

家庭用パネル600戸分相当の出力200kw。電気事業ではなく、地域振興施設整備事業の位置づけで、体験学習施設など地域の観光資源としても活用していきますが、採算性の見通しがたてにくい課題があります。

震災を踏まえた地震防災・津波対策 約724億円

96億円増で、過去の津波の痕跡調査や、自衛隊医療関係部隊との総合防災訓練、災害対策の公共事業などで必然な事業です。

拉致問題・文化振興担当に
水田秀子理事就任

県組織改編により、特に県独自に拉致問題担当をおき、解決に向けて、国への働きかけや県内啓発を担います。また、文化費は約23億4000万円、神奈川県芸術



メガソーラー予定地にて

劇場(KAAT)、県民ホール、神奈川県フィル楽団への助成、エンタ

メストリートを作るなど文化振興に力を入れます。



牧山ひろえ参議院議員と

くさか景子のほっとコラム
県、民主党女性議員の提案で、
女性政策すすむ!

・全国初の性犯罪被害者
支援ネットワーク



2月1日「かながわ犯罪被害者サポートステーション」と神奈川県産科婦人科医学会では、性犯罪被害者への支援における連携・協力に関する協定を締結、県内各地域の65の病院とネットワークし、被害者へのサポートがきめ細かく行われるようになりました。

・女性の就業支援 ワンストップ化



子どもを持ち再就職を望む女性にとり、子どもを連れての求職活動が困難です。横浜STビルのマザーズハローワークでは現在キッズコーナーはありますが、新たに子連れママ用に一時保育などの保育機能を国と協力して実施することになり、一歩進みます。

宮城県仙台市 訪問交流の旅

2月12日～13日

参加者 くさか景子と支援者17人

◆あすと長町仮設住宅集会所 を訪問して

今回は仙台市議会議員 岡本あき子さんのご尽力により、「あすと長町仮設住宅」を訪問した。約230世帯のご家族が生活されている。各種ボランティア団体や専門家らの協力を得ながら、外国語やパソコン、囲碁、内職クラブなどさまざまなクラブ活動も行われている。

集会所では、沖縄の三線の演奏と大型絵本遊び、仮設住宅の自治会の方々と意見交換した。

鈴木自治会長のお話によると、コミュニティがなかなか作りにくいことや高齢者が60%以上、今後の個人個人の自立の在り方やニーズを把握し、市と交渉していくことが課題だと言われた。

参加者は、茅ヶ崎から運んだ寄贈の着物や絵本を自由に選び、持っていかれた。

和やかな中にも、被災者の方々の色々な思いが交錯するひと時でしたが、3・11以後、震災からの復興



三線の演奏を楽しむ参加者

に向けて、1人1人がしっかりと手を携えながら未来に向けて着実に歩みを進めていることを実感する交流会であった。

◆被災状況と支援の取り組み についての意見交換会

自分たちでできることは、まず自分たちで

岡本市議会議員

災害を経験し、議会としての危機管理体制や情報連絡手段の徹底、行政ですべてを行うことの限界から、自主防災組織や町内会などの体制確認・実践訓練の必要性を強調された。また、災害時の高層マンションでの小中学生の活躍(食事を30階の高齢者に運ぶ等)から、防災教育における中高生の役割意識の醸成や、災害時の権限は県にあることから、特に政令市は県と同等の権限が必要とのことで、権限と財源の見直し等についてとも言及された。



仙台市との意見交換会

被災者の孤立防止と心のケア

市民局市民協働推進課

仮設住宅の被災者が、これまでのコミュニティとの断絶、社会的孤立から、睡眠障害、うつ病、役割喪失感などの心の問題が生じている現状説明があり、社会的

な仕組みやネットワークの中で「支えあい」により生活再建を図ることができ「コミュニティづくり」の必要性とその取り組み事例の紹介があった。緊急雇用で雇用された「絆支援員」が入居者を戸別訪問し、専門スタッフやコーディネーターのもとで相談や関係機関と連携し、暮らしをサポートする事業は、平成23年度は、1億6千万円の予算が計上されている。

◆東北コットンプロジェクト見学

宮城沿岸に希望の綿花を咲かせよう！人々を繋ぐ

「東北コットンプロジェクト」・パレル業界等のコラボによる農業再生

津波被害に遭った農地に綿花を植え、農業の再生を目指す。パレル業界等の60団体が参加するおおきなプロジェクト。綿花の栽培から綿製品の販売までの一連の工程をプロジェクト参加者が担う。綿花は耐塩性が高く、除塩効果もあるといわれている。産地は仙台市の荒浜(1.2ha)と、名取市下増田(0.4ha)。かつては稲作地帯だったが、東日本大震災により、稲作に必要なインフラが破壊された。

昨年の秋の台風でも被害を受け、全体での収穫は約1トン。予想をだいぶ下回る量だが、次



生産組合の赤坂さんと

は10倍にしよう」と意気込む仙台東部地域「綿の花生産組合」の赤坂さん。多くの人々に見守られながら育つ綿花。たくさん希望も紡ぎだしてくるだろう。

傍聴記

2月28日の県民企業常任委員会の傍聴をしました。午前中は委員会のメンバーに向けて行政の方々がひたすら文書を読んでもいましたが、午後には本格的な質疑応答の時間に入りました。委員側と行政側の攻防がリアルタイムで展開され、委員側が行政側の答弁にその場で疑問をぶつけたり、今までの印象とは全く違う真剣な議論を見ることができました。今まで全然知らなかった予算の配分の詳しい話を聞けたことがすごく為になりました。

委員会の傍聴者向けに用意された資料には、具体的な目標や詳細な予算が記載されていたり、行政の方がみなさん同じバッグをもっていたりと、傍聴しなれば見ることのない世界をたくさん発見したので、とても有意義な時間を過ごすことができました。残念ながら傍聴者は少なかったのですが、県民の一人としてとても価値のある傍聴でしたので、もっと多くの方が傍聴してくれるようになると良いと思います。

議員インタビュー 阿部美奈子

神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は県民企業常任委員会とエネルギー政策調査特別委員会に所属しています。

県民企業常任委員会

2月28日・3月1日・5日・16日

問題多い神奈川フィルハーモニー楽団への支援

毎年2億円を支援し、ブルーダル基金を作り2年間で5億円を集め神奈フィルの債務を救おうとしています。県民から寄付された金額と同額1647万円を拠出することは県民からの理解を得られるのか疑問が残ります。楽団自身が努力し、県が肩代わりする必要が問われます。

しかし、神奈フィルは県内唯一の交響楽団として、ボランティアの活動や県民のため大きな位置づけを占める楽団であり、まさに県あげての応援する価値があるとの答弁に、県民に存続の意義をPRし、理解を求めること、目標金額が達しなかった場合は再検証を行うなどの要望をしました。

期待できるかながわ若者サポートステーション

困難を抱える子ども・若者への支援体制として、これまでの4か所から新たに小田原にサポステを開設、受託NPOが

自然豊かな独自の宿泊施設を持ち自立支援に貢献しています。またひきこもりの若者と社会との接点となる場「ひきこもり支援サイト」を開設し社会復帰のきっかけとなります。さらに子ども若者相談センターを含め、若者や子どもへの支援策に力を入れます。

エネルギー政策調査特別委員会 3月7日

かながわソーラーセンターの問題点

太陽光発電設置希望の県民の相談、安価なプランの紹介を担うセンターが昨年12月22日オープンして、3カ月経ちました。相談は多いのですが、実績は3カ月間で50件くらいと目標1200件を大きく下回っています。年度末の市の補助金不足などの悪条件はあるものの、委託したNPOのスキルの低さやセンターの地の利の悪さなどもあることを私は指摘しました。県では24年度新たな委託先を公募しますが、より太陽光発電に関心ある県民へのPRを進める必要があります。



くさか宅のソーラーパネル

脱東電 PPS(特定規模電気事業者)の取り組み

県庁では、H16年から本庁舎を含め16施設で東電以外から電力を購入しています。使用量から全体の10%くらいを占め、削減額はH23年度6,400万円となっています。各市町村でも積極的に取り組んでおり削減をすすめているところ。しかし、東電の17%値上げの影響を受けて、PPSとして余剰電力がない、採算がとれないなどの理由で残念ながらPPS入札がすすんでいません。東電の値上げに関し、関係団体とも連携しながら一方的な値上げが行われないよう要請を行っています。

視察報告

県立公文書館の被災公文書レスキュー

3月1日

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の公文書を修復する事業を視察しました。

津波による濡れやカビ、土砂などの汚れがあり、使用できなくなった公文書をもう一度使えるように修復します。その作業は、まずドライクリーニングをし、スポンジや刷毛などで付着したものを丁寧にがし、扇風機で乾燥します。次にホッチキスやクリップなどの金属を除去しエタノールで殺菌、表紙を新しく交換して完成です。

去年の10月から3月までの予定で80冊預かっていますが、非常に手間がかかりデリケートなもので、9月まで延長するそうです。国の緊急雇用創出事業を活用し予算は2,674万円、12

人のレスキュー隊で日夜作業に励んでいます。地味な作業ですが、大きな意義を持つ仕事に感謝を受けました。



公文書の修復作業

傍聴記

神奈川県議会 本会議の感想

初めての県議会で特に関心があったのが少年の非行防止対策についてである。

私が研究している内容であったというのもあるが、行政、そして政治が子どもたちの未来に託す取り組みをいかに誠意を示すことができるのか、本会議を通して考えさせられた。行政の課題や政策こそ地元の住民の声を活かさなければいけない。私はまだまだ勉強不足であり、ますます勉強しなければいけないと強く感じた。

県議会での内容は市民のために何ができるかを今一度問い直すきっかけとなった。実践する政策の支える側の現場の裏側をみるのができ、とても貴重な一日であった。議員インターン 白井美恵